

石炭と

蒸気船

―幕末の燃料事情―

一日時 2025 7月26日(土)

13時30分〜15時(開場13時)

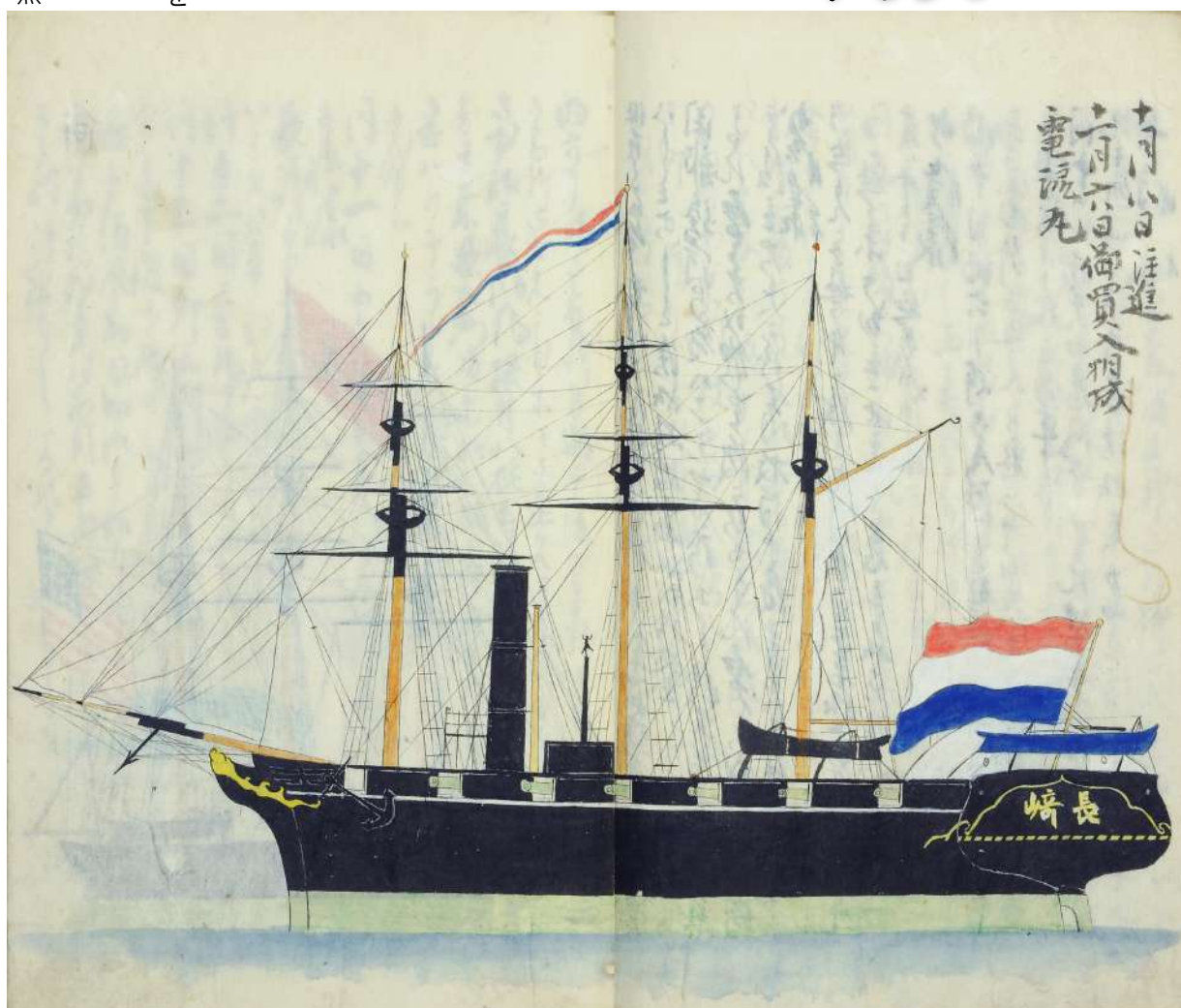
―講師―
坂本卓也氏

(佐賀大学 地域学歴史文化研究センター 研究員)

―会場― 佐賀城本丸歴史館外御書院

〔聴講無料・当日受付〕

幕末の日本では、幕府や佐賀藩をはじめとする各藩が、多くの蒸気船を所有し活用していたことが知られています。それらを運用するためには、当然燃料の石炭を確保することが必要であり、そこには領内に産炭地を抱えているかが大きく影響していました。一方で、海洋を移動する船舶である以上、必ずしも自領に戻って補給できるとは限らず、幕府や各藩の蒸気船が、航海の途中で燃料の確保に苦心していたことが様々な記録に残されています。本講演では、当時の蒸気船の航海とそこでの燃料補給について紹介します。



佐賀藩蒸気船電流丸(公益財団法人鍋島報效会所蔵/佐賀県立図書館寄託)



佐賀県立 佐賀城本丸歴史館
SAGA CASTLE HISTORY MUSEUM

〒840-0041 佐賀市城内二

TEL:0952-41-7550 FAX:0952-28-0220



佐賀らしいやさしさで
みなさんをお迎えします。
ゼミナール参加にあたり、事前に確認
したいこと、配慮が必要な事項があれ
ば、お気軽にお問い合わせください。



身障者など
駐車場あり



車イス対応
トイレあり



授乳室
あり

佐賀城本丸歴史館

検索

佐賀県

© 2025 Saga Prefecture.